

第3学年 道徳科学習指導案

日 時：令和5年2月4日（土）

学 級：3年2組（男子16名女子16名）

授業者：松尾 晃子

1 主題名 自分らしさ A個性の伸長

2 教材名 「じゃがいもの歌」（新訂 新しいどうとく3 東京書籍）

3 本時のねらい じゃがいもを選びながら、友達と自分の個性に目を向け始めた主人公と自分を重ねて考え、自分のよさを伸ばしていこうとする心情を育てる。

4 本時の展開

	学習活動 ○主な発問	・指導上の留意点★評価
導入	<p>1 じゃがいもを見て、思ったことを話し合う。</p> <p>○このじゃがいもを見て、感じることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な大きさや、形がある。 ・でこぼこしていて、顔が書いてあるようにも見える。 	<p>・じゃがいもの写真を見せ、その見た目から感じることを自由に発表することで、教材中のさとしの気持ちを理解しやすくする。</p>
展開	<p>2 教材「じゃがいもの歌」を読み、思ったことを話し合う。</p> <p>○1つ1つのじゃがいもを見て、さとしはどんなことに気付いたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部同じだと思っていたけれど、違っている。 ・1つ1つ重さやでこぼこ具合が違う。 ・1つ1つ違う顔を持っている。 <p>○とおるににているじゃがいもをそっと手にのせてくすりどきと笑ったさとしはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このじゃがいも、とおるの顔に似ているな。 ・泥だらけでも、元気いっぱいな様子が伝わるな。 ・とおるは、よく注意されるけれど、優しいところもあるよ。 <p>◎「ぼくはどんなじゃがいもににているかなあ。」と思ったさとしは、どんなことを考えていたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1人違っているんだな。 ・みんな違うよいところをもっているのだな。 ・僕のよさって何かな。 	<p>・それぞれの個性に気付いたさとしの楽しさに共感できるように、導入で見せたじゃがいもを用いる。</p> <p>・補助発問として、とおるはどんな子なのかを問い、いろいろな面から考えることで、一人一人の長所に意識が向くようにする。</p> <p>★一人一人に個性があることに気付いたり、「自分らしさ」について考えたりしているさとしの気持ちを考えいる学習状況を把握する。</p>
	<p>3 自分を振り返って、自分らしさや自分のよさについて考える。</p> <p>○どんなところが自分らしさや自分のよさだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの友達と仲良くできるところ。 ・毎日、外で友達と体を動かして遊ぶところ。 ・小さい子のお世話が好きなところ。 ・本が好きで、いろいろなことを調べたくなる所。 	<p>・なかなか書けない児童には、友達から見たその子のよさを知らせたり、これまで頑張ってきたことを思い出せるようにしたりする。</p> <p>★自分を振り返り、自分らしさや自分のよさを考えている学習状況を把握する。（ワークシート）</p>
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>○教師から見たクラスのよさについて話す。</p>	<p>・それぞれのよさがあることに気付けるような話をする。</p>

